

令和5年 第9回教育委員会定例会議 会議録

- 1 日時 令和5年9月20日(水)
開会 13時30分
閉会 14時30分
- 2 会場 金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室

3 出席委員(6名)

教 育 長	野 口 弘
教 育 委 員	大 島 淳 光
〃	木 村 陽 子
〃	丸 山 章 子
〃	長 澤 裕 子
〃	櫻 吉 啓 介

4 欠席委員(1名)

教 育 委 員	田 邊 俊 治
---------	---------

事務局	教育次長	上 寺 武 志
	担当次長(兼)教育総務課長	堀 場 喜一郎
	教育総務課担当課長(兼)課長補佐	寺 末 哲 也
	担当次長(兼)学校職員課長	地 下 雅 志
	学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐	外 川 奨
	担当次長(兼)学校指導課長	貞 廣 賢 了
	学校指導課担当課長(兼)課長補佐	小 川 隆 庸
	市立工業高校事務局長	長谷川 智 朗
	生涯学習課長	村 田 昌 人
	図書館総務課長	安 江 貴 子
	(兼)玉川図書館長	
	(兼)玉川図書館近世史料館長	
	(兼)玉川図書館城北分館長	
	教育プラザ総括施設長	今 寺 誠
	(併)こども相談センター長	
	学校教育センター所長	熊 谷 有紀子

5 案 件

- 報告第23号 金沢市南部共同調理場(仮称)建設事業の概要について (教育総務課)
- 報告第24号 金沢市健康教育推進プラン2024(仮称)案のパブリックコメントの実施について (学校指導課)
- 報告第25号 休日の中学校部活動の地域移行に関する調査結果について(学校指導課)
- 報告第26号 玉川図書館及び玉川こども図書館の駐車場の使用料減免について (図書館総務課)

非 報告第27号 令和5年度金沢市教員採用候補者選考試験(金沢市立工業高等学校教員)
の結果について (学校職員課)

そ の 他

(1) 金沢市立工業高等学校の活動状況について(令和5年4月～8月)

(2) 次回の定例会議の日程について

6 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議あいさつに続いて、傍聴希望者4名について協議し、傍聴を許可した。次に、会議録署名委員に大島委員を指名した。本日の議題について、野口教育長が報告第27号を非公開とするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、報告第23号、報告第24号、報告第25号、報告第26号について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、10月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に報告第27号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

* 10月の定例会議の日程：令和5年10月18日(水) 13:30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

○ 報告第23号 金沢市南部共同調理場(仮称)建設事業の概要について(教育総務課)

(説明の概要) 議案書2ページ。金沢市南部共同調理場は、老朽化が進む鞍月共同調理場、扇台共同調理場、および4カ所の単独校調理場の集約化を図るため、泉本町6丁目地内に設置する。先般開催された金沢市議会9月定例会議において、建築工事等に係る工事請負契約の締結を議決いただいたことから、来月中旬から工事に着手する。

施設の特徴としては、安全・安心な学校給食を提供するため、HACCP等の衛生管理基準に対応する調理環境を確保するとともに、見学スペースや研修室を設けて食育の推進を図る。また、受変電設備を屋上に設置するなど災害対策を強化するほか、臭いや騒音など施設周辺的生活環境にも配慮する。

洗浄・消毒保管機器や冷蔵庫、調理釜等の厨房機器を令和7年5月までに設置し、令和7年度2学期からの供用開始を目指し、今後工事を進めていく。

起工式は10月18日(水)午前に執り行う予定としている。本日、委員各位のお手元に案内状を配布した。ご多忙中ではあるが、ご都合の付く限りご出席いただくようお願いする。

野口教育長

3ページにイメージ図がありますが、調理室は天井が高いのですね。

堀場教育総務課長

調理室は天井をかなり高めにしています。学校給食等の調理場は通常、室内の温度や湿度の対策のために天井高の基準が示されています。今回、HACCPの基準を適用していて、通常は3.25m以上の高さを設けることになっていますが、この調理場は、先ほどご説明したように食育の推進を図るために見学なども想定しており、見学室を設けています。そのため、2階部分から調理過程全体を見渡せるように窓を設けています。そうしたこともあって、吹き抜け構造としています。ちなみに、これまで造ってきた東部、北部、西部のいずれの共同調理場も見学スペースを設けているのですが、いずれも吹き抜け構造になっ

ており、H A C C Pの基準よりも天井高を高くしています。

長澤委員

周辺は住宅地なのでしょうか。それから、鞍月共同調理場等は今後どうなっていくのでしょうか。

堀場教育総務課長

今回の資料に位置図が付いていないため、イメージがつきにくかったと思います。場所は金沢市消防本部の向かい辺りで、県央土木総合事務所が以前あった場所となります。前面は県道に面していて、南側は線路が走っています。残り2方は住宅地に囲まれています。

統合される鞍月共同調理場、扇台共同調理場、それから四つの単独校の施設については、新しい共同調理場が完成した際にはそれぞれ廃止となります。それぞれ単独で調理していた富樫小学校、三馬小学校、伏見台小学校、大徳小学校については、自校で作っていた給食を校内に配膳していたのが、今後は共同調理場で作られた食事が運ばれてきますので、トラックが横付けできるような設備やワゴンプール等も今後整備する予定です。

長澤委員

臭気や騒音に対して、周辺にお住まいの方々にはどのような配慮がされているのでしょうか。

堀場教育総務課長

これまでも地元の方々に対して説明会を幾度か開催しています。その中で地元の方から特にご質問等や要望等はなかったのですが、給食を作る調理場という工場になりますので、騒音や臭いには十分配慮しなければいけないと思っています。特に、排気ダクトに脱臭フィルターを設置することで臭いを低減するほか、換気扇などについては低騒音型、音の静かなものを積極的に取り付けて、騒音発生にも配慮していきたいと考えています。

○ 報告第24号 金沢市健康教育推進プラン2024（仮称）案のパブリックコメントの実施について（学校指導課）

（説明の概要）議案書5ページ。本市の児童生徒への健康教育を推進するための「金沢市健康教育推進プラン2019」が今年度をもって終了することから、令和6年度より実施する新しい健康教育推進プランのパブリックコメントを行う。期間は、9月26日～10月25日である。

「金沢市健康教育推進プラン2024」の基本的な考え方は、引き続き「ヘルスプロモーション」の理念に基づいた取り組みを充実し、推進を図ることとする。プランの期間は5年間としている。

新型コロナウイルス感染症によるさまざまな影響や社会環境の変化等も見られることから、体力、運動能力の低下や「感染症への対応」、「情報メディアの普及に伴う問題の増加を課題として、追加・変更を行っている。

めざす子どもの姿や施策体系については、現プランの内容を継承している。

「7つの重点的健康課題における取組」については、現プランの取組結果や、先ほどお伝えしたような追加・変更した課題等を踏まえて、下線部について今回見直しを図った。1の「心の健康」では、「リアルな交流や体験活動の減少」「不登校の増加」といった課題を受けて、「生活リズムに関する内容の充実、家庭・社会環境の変化に伴う対策の充実」を図る。

2の「体力の増進」では、コロナ禍で運動環境の制限や体力低下が進行したことを受け、「運動ができる環境の充実」を図る。

3の「けがの防止／病気の予防」では、現在も継続している新型コロナウイルス感染症の対応や、新たな感染症が起きたときのために「感染症対策の充実」を図る。

6の「性に関する指導（生命尊重）」では、性的マイノリティに対する考え方が浸透していることを受け、「生命（いのち）の安全教育の充実、性の多様性に関する内容の充実」を図る。

金沢市健康教育推進プラン2024（仮称）案の詳細は、別添資料をご覧ください。今回改定を行った部分は赤字で記載してある。そこが追加・変更等を行った箇所となる。

櫻吉委員

別添資料にある健康調査の対象は小・中学生全員ですか。

貞廣学校指導課長

昨年度調査したのですが、対象者は小学校4年生・6年生各1クラス、中学2年生各1クラスの抽出校で行いました。抽出校は小学校17校、中学校14校です。また、児童生徒の保護者、教員にも調査を行っていて、小学校では管理職1名、3・4年生の担任1名、5・6年生の担任1名、中学校では管理職1名、保健担当の教員2名について調査を行いました。

櫻吉委員

どのぐらいの母数になるのでしょうか。

貞廣学校指導課長

小・中学生は1,350人、保護者は1,280人、教員は233人となります。

櫻吉委員

14ページの「子供の実態」に「咳エチケットを『説明できる』割合」とあるのですが、これは「咳エチケットを説明できますか」と尋ねたのでしょうか。それとも、咳エチケットといっても幾つか項目があって、それをきちんと理解して答えているのでしょうか。18.7%という数字が「○」になっていますが、大きいと捉えた方がいいのか、まだまだ不十分だと捉えた方がいいのか、どうでしょうか。

貞廣学校指導課長

「○」は、前回の調査よりも数値が上がったことを示しています。「△」は課題として捉えていることを示しています。「咳エチケットを『説明できる』割合」については、質問内容の部分を手元に持っていないので、その確認はさせていただきたいと思います。

櫻吉委員

例えば「説明できる」に「○」をしたとしても、本人が本当に説明できる状態なのかどうかはまた別問題ではないかと思っています。自分が不十分だと思っても十分な人もいるだろうし、そのギャップも当然あると思うので、数字として表れないものがあると思いました。

貞廣学校指導課長

単純に数字が上がっているだけではなくて、どのような回答をしているのかということも分析して、今後に活かしていきたいと思います。

櫻吉委員

22ページの「子供の実態」で、「具合が悪くて薬を飲むとき、おうちの人に『あまり相談しない』『相談しない』の割合」が15.4%なのですが、これはどういった状態なのか想像がつかなかったのですが、どのような状態か分かりますか。男女比などが分かれば教えてください。もし女の子で、例えば生理痛などで自分で薬を飲んだりする場合も含まれるのかなとったりしたのですが、普通、薬を飲むときに親に相談しないということがあり得るのでしょうか。割合が多いと思ったのですが。

貞廣学校指導課長

その割合についても手元に資料がありませんので、この回答がどのようなことを想定して質問したものであるかというのを分析したい

と思います。

丸山委員

「金沢市健康教育推進プラン」は2004年から5年ごとに改定されているとのことですが、このプランを設定してからどのような効果があったのか教えてください。

貞廣学校指導課長

この推進プランは、子どもの心と体の健康の保持増進を図るために、家庭と学校、行政が連携してさまざまな課題に取り組む行動計画として取り組んできているプランです。その結果、学校では健康教育を教育課程に位置付けていますし、子どもたちの健康に対する意識が高まっているという調査結果等も全国学力・学習状況調査からも見られていると思います。またスクールフォーラムの中で、保護者から「この健康教育推進プランを家庭で一緒に見ることによって、子どもたちと健康のことについていろいろ話す機会があった」という声も聞かれています。

長澤委員

10ページの「具体的な取組例」の下から5番目の枠の中に、「子供の発h a 達段階を踏まえ、習い事が過度にならないように気をつける」とあるのですが、「h a」と入っているのは変換ミスか何かですか。

貞廣学校指導課長

誤植です。すみません。直します。

長澤委員

同じページで、「メールやパソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲームをする時間が『3時間以上』の割合」が24.5%から34.4%に大きく増えたことが変化だと思うのですが、これに対してどのような方向性をお持ちでしょうか。時間を減らすという単純な話なのか、それともICTを利用した勉強も推進している中で、これだけ時間が増えてきている子どもたちの実態を踏まえ、どういう方向に持っていこうとしているのか、お聞きできればと思います。

貞廣学校指導課長

その点については検討委員会でも話題になっていたところです。まず、結果としては非常に割合が上がっているということで、検討委員会では、下から5番目の枠にあるように、「スクリーンタイムが長時間にならないように、利用する時間等を家庭で決める」ということで、家族で使い方についてのルールをしっかりと定めることが大事ではないかということが話題にあがりました。健康教育推進プランでは、使い方というよりは、家族とどういうルールで使っていくのか、子どもたちの健康に向けてどういう使い方がいいかということを中心にまとめてあります。

長澤委員

単純に時間だけでなく、何にどれだけ使うのかということと家族と共有して、計画的に使っていくという方向性と理解していいでしょうか。

貞廣学校指導課長

はい。

木村委員

「7つの重点的健康課題における取組」で、「心の健康」や「体力の増進」の横に「チェックポイント」とあるのは、どのような位置付けのものですか。

貞廣学校指導課長

家庭や学校で子どもたちがこのリーフレットを見ることになると思

うのですが、そのときに、これについては家庭でこういうことを話しているとか、そういうところを一つずつチェックできるようにこの項目を設けています。

木村委員

本当に初歩的な質問ですが、『楽しい』と思える授業にするために工夫していますか」というチェックポイントと、行動計画にある『楽しい』と思える授業にするための工夫」が対応しているということでしょうか。

貞廣学校指導課長

おっしゃるとおり、行動計画と対応しています。9ページの「心の健康」を例にとると、「心の健康について理解を深める授業づくりを工夫していますか」というチェックポイントがあって、これを教員が見たときに、何を基準にして取り組んでいると判断するかということ、「行動計画・行動指針」のところに「心の教育の充実」「学校内における相談活動の充実」「やすらぐことのできる学校環境の整備」「保護者に対する啓発活動の推進」の4点が記載してあり、これらを自分では取り組んでいるということであれば、そこにチェックをしていきます。それに対して具体的にどんなことをしていけばいいかということで、横に「具体的な取組例」を載せてあるという見方をしていただければと思います。

○ 報告第25号 休日の中学校部活動の地域移行に関する調査結果について（学校指導課）
（説明の概要）議案書7ページ。調査期間、調査対象、回答者数、調査方法は記載のとおりである。

「（1）児童生徒用・保護者用アンケート結果」の①は、「休日について、地域クラブ活動として活動する場合、参加を希望しますか」という設問の回答結果である。中学生と保護者には、小学生にはない「すでに参加している」の選択肢がある。中学生は「希望する」よりも「希望しない」が上回り、逆に小学生と保護者は「希望する」が「希望しない」を上回っているが、いずれの調査対象も「まだ決めていない」「わからない」との回答が一番多かった。

②は、参加を希望する活動である。運動系と文化系のそれぞれで希望が多かった回答を八つ表記してある。運動系では「サッカー」と「バスケットボール」が、文化系では「吹奏楽」と「ピアノ」が上位となっているが、小学生の上位二つは「家庭・クッキング」「美術・工作」だった。

③は、その地域クラブ活動を選んだ理由である。小・中学生と保護者のいずれも、「部活動と同じ活動をしたい・させたい」「その活動に興味がある」の回答が上位を占めた。また小・中学生では「体力や技術を身に付けたい」という回答も多かった。

④は地域クラブ活動にかかる経費、⑤は送迎への対応について保護者だけに問う設問である。④の経費については「3,000円以内」の割合が一番多く、次いで「5,000円以内」となっているが、「10,000円以内」や「1,000円以内」と回答する保護者も一定数いた。⑤の送迎については、「対応できる」と回答した割合が半数を超えていたが、「対応できない」「わからない」を合計した回答も半数近くあった。

⑥は、参加を希望しない理由である。「他にやりたいことがある」「休日まで活動したくない」「自分に合う活動を選べない」が小・中学生の上位三つとなっているが、保護者では「参加する場合の費用が必要だから」という回答も多くあった。

⑦は、休日の地域クラブ活動について、気になることである。「活動時間」や「活動場所」の割合が多いが、小・中学生では「活動する仲間」が上位となっている。また小学生では「活動の選択肢」、保護者では「参加費用」という回答が上位となった。

「（2）中学校教員用アンケート結果」の①は、休日に地域クラブ活動をするようになる場合、指導者として関わろうと思うかという設問の回答結果である。「はい」と回答した教員は12%、

「いいえ」は68%、「わからない、まだ決めていない」は20%となった。②は、関わろうと思っている活動の回答である。

③は、関わりたいと答えた理由である。「自分の経験を生かしたい」や「子供たちの人間性を高めたい」の割合が多かった。④は、関わりたいと答えた理由である。「自分や家族との時間を確保したい」「専門的な指導力に不安がある」「精神的負担が大きい」の割合が多かった。

⑤は、休日の地域クラブ活動について、気になることである。「平日の学校部活動との連携」「大会やコンクール等への関わり」「専門性や資質・能力を有する指導者の確保」という回答が多く見られた。

調査結果の詳細については別添資料を見ていただきたい。引き続き、休日の中学校部活動の地域移行に向けて、文化スポーツ局と連携を図っていきたい。

大島委員

以前、このようなアンケートの調査と結果を見た覚えがあるので、前回と今回のアンケートの違いを教えてください。

貞廣学校指導課長

前回は行った調査は今回の本調査をするための抽出調査ですので単純な比較はできませんが、例えば、休日の地域クラブ活動への参加について、小学校5・6年生は「希望する」の割合が本調査と抽出調査で差はありませんでしたが、「希望しない」は本調査の割合が下がり、「まだ決めていない」は本調査の割合が上がっています。

中学校1・2年生は、「希望する」「希望しない」の割合がともに本調査で下がっていて、本調査の新たな項目である「すでに参加している」と回答した割合が13%、「わからない」と答えた割合が微増しています。

保護者については、「希望する」は両調査で大きな差はありませんでしたが、「希望しない」は本調査の割合が上がっており、「わからない」がやや下がっていました。

地域クラブ活動で参加したい活動であったり、地域クラブ活動を選んだ理由については特に大きな差は見られませんでした。

中学校教員のアンケートでは、指導者として関わると回答した割合には両調査で大きな差は見られませんでした。指導者として関わらないと回答した割合は、本調査の割合の方が上がっていました。

また今回の調査では、抽出調査のときには取らなかった保護者負担であったり、保護者の送迎も設問に入れて、保護者のニーズ等も調査しています。

大島委員

調査方法についても前回と同じということによろしかったですか。

貞廣学校指導課長

前回と同様、子どもたちはタブレットのフォームを使ったり、タブレットを使えない場合は紙を配布して行いました。

長澤委員

中学校教員のアンケートで、「自分が指導者として関わろうと思うか」という設問で、「いいえ」と回答した割合が増え、「しない」という方が明確に増えたという結果は、勤務時間の軽減に有効という意味で、良い傾向なのだろうと思います。今まで教員の方が、自分の家族を置いて休日に指導していた部分を、自分のご家族に目を向けたりするという意味で、これは良い傾向だと思いました。

今回、大変詳細なアンケートを実施され、これを踏まえていろいろ分析もされているところなのですが、この結果をこれからどのように検討を重ねていくのか、大まかな予定があれば教えてください。

貞廣学校指導課長	先ほども報告の中で触れたのですが、今回の結果は文化スポーツ局と情報共有しています。そこから、いろいろ課題となる活動場所や指導者の確保、費用負担の在り方など、見えてきた課題を整理した上で、早い時期に地域スポーツ団体や学校等の関係者で構成する協議会を設置した上で、課題解決に向けて、また受け皿づくりに向けて協議していく予定です。
櫻吉委員	中学校の先生が地域クラブ活動でお手伝いをした場合、あくまでもボランティア活動になるのでしょうか。
地下学校職員課長	兼業の手続きを踏めば、有償ボランティア、無償ボランティアのいずれに関してもできる形になります。有償の場合は指導員として兼業を行う形になりますので、ボランティアという言葉も当てはまらなくなると思います。
櫻吉委員	そうしたことは中学校の先生方は皆さんご存じなのですか。
地下学校職員課長	現在も教員としての業務に加えていろいろな子どもの活動や地域の活動を行うことに関して、兼職兼業手続きをすることが教員の中で定着しております。その流れの中で、地域クラブ活動を指導する際には教員の立場を離れて行うことになるという認識は持っていますので、その手続きが必要になることは管理職を含めて理解しています。ただ、今後具体的にこの話が進んでいく中では、そうしたところの制度設計についても説明はしていかなければならないと思っています。
丸山委員	今回このような詳細な調査をしたことは非常に価値があることだと思います。結果的に「わからない」「まだ決めていない」「希望しない」という回答が多かったのは、保護者の皆さんや児童生徒がまだ具体的なイメージをできていないからだと思います。例えば、平日に部活動で何かのスポーツをしていて、「休日は何をしたいか」と聞いたら、「部活動と同じ活動をしたい」という意見が結局一番多いのですが、具体的にはどこで、どういうふうに活動するのか、指導者は変わるのかというところまでは多分つかめていないと思います。休日だけ指導者が変わるのか、場所が変わるのかというところを、アンケートの結果も参考に、具体的に保護者も児童生徒もイメージできるような形で示していければいいと思います。
貞廣学校指導課長	この調査を行う際に、文部科学省の資料や、休日における地域クラブ活動の選び方というケース例を示したのですが、委員がおっしゃったとおり、まだイメージができていない部分もあると思いますので、その点については学校に周知等を行っていく必要があると捉えています。
木村委員	他の地域で休日の中学部活動の地域移行を実践されているところもあると思うのですが、その資料やデータはないのですか。
貞廣学校指導課長	休日における部活動の在り方については、県で会議等がある際に、現在行われている小松市やかほく市、能美市から事業形態の報告等が行われていると聞いています。

木村委員	それを参考に、もう一度アンケートを取ってみるのも一つの方法だと思います。参加を希望しない理由で、「自分に合う活動を選べない」という回答の意味がちょっと分からなかったのですが、選択肢がないということなのか、どういう意味なのか教えていただけませんか。
貞廣学校指導課長	地域移行のアンケートについては、この後立ち上がる協議会等で検討していくことになると思います。 「自分に合う活動を選べない」という理由については、自分が現在行っている活動に対して、実際に指導が行われるかどうかのイメージがつかなかった部分もあったと思います。例えば自分はトランポリンをやりたいと思っていただけども、トランポリンが実際に行われるかどうかというところで迷った子どももいたと聞いています。
木村委員	そうなのですか。分かりました。ありがとうございます。
野口教育長	地域移行については県のスポーツ審議会でも協議題になっているので、そこでも議論していけばいいと思いますし、前回の会議で私から、「県がやろうとしていることがあまりよく見えない」という厳しい言い方をしました。県がもっとイニシアチブを取って、しっかり動いてほしいという話をしました。今回どのように変化するかを見極めながら、議論をしていきたいと思います。いずれにしろ、早く協議会を立ち上げていかないと具体的な動きが見えてこないと思いますので、文化スポーツ局とも連携しながら頑張っていきます。

○ 報告第26号 玉川図書館及び玉川こども図書館の駐車場の使用料減免について（図書館総務課）

（説明の概要）議案書12ページ。玉川図書館および玉川こども図書館の駐車場を利用する際、駐車場基本使用料の30分無料に加え、図書館利用者に対して、その後30分の使用料を減免し、利便性の向上を図る。

開始時期は10月1日からである。現在の減免は、図書館主催行事に参加する方々に入場から2時間を無料としている。今回、これまでの減免対象者に追加して、図書館を利用する方々が入場から1時間無料となるように減額する。このことは金沢市広報、図書館ホームページ、館内掲示などにより図書館利用者に周知する。

大島委員	減免については、利便性向上を図る上で非常に良い取り組みだと思います。一方で、玉川図書館周辺はマンションの開発などが進んでいますが、以前からあった渋滞などの課題はどのような状況になっているのでしょうか。
安江図書館総務課長	現在、渋滞はほとんど起こっていません。これまでの状況から勘案して、今回1時間の無料になったとしても大きな渋滞は起きないと考えています。
野口教育長	オープンしてからしばらく様子を見て、1時間であれば渋滞は生じないだろうという判断でこうなると理解してよろしいですね。

○その他（1）金沢市立工業高等学校の活動状況について（令和5年4月～8月）

（説明の概要）議案書15ページ。一つ目は、全国工業高等学校長会が主催する高校生ものづく

りコンテストの石川県大会の結果である。市立工業高校からは五つの部門に参加し、三つの部門で北信越大会に出場した。中でも建築科の木材加工部門では、北信越大会で現在2年生の生徒が準優勝を収め、若年者の最高位ということで、高校生ものづくりコンテストとは別の大会になるが、令和6年度の若年者ものづくり競技大会という全国大会の出場権を手に入れることができた。

二つ目は、資格取得の状況である。8月までに延べ304名が資格を取得した。この中には、全国工業高等学校長協会主催のジュニアマイスター顕彰制度において最上位の難関資格であるSクラスに相当する、応用情報技術者を取得した生徒が1名いる。

三つ目は、部活動・課題研究の結果である。県大会や北信越大会でおおむね上位3位以上の成績と全国大会の結果を記載した。文化部では、生花部が高校生花いけバトル全国選抜大会で2位の成績を収めたほか、吹奏楽部が石川県吹奏楽コンクールで金賞を受賞した。運動部では相撲、新体操、弓道、バトミントン、水球、自転車、ボウリングの七つの競技が全国大会への出場を果たし、相撲では団体戦3位入賞を果たした。また部活動以外でも、機械科3年生のチームが、自作の缶サイズの模擬人工衛星の技術を競う缶サット甲子園2023岐阜地方大会に初出場し、ベストプレゼンテーション賞を受賞した。

四つ目は、先般実施した中学生体験入学についてである。金沢市を中心に53の中学校から計353名の中学生にご参加いただいた。体験入学では缶サットの見学のほか、各科の特徴的な取り組みを全て体験していただいた。アンケート結果によると、体験入学に参加してよかったという回答が9割以上あった。なお、体験入学とは別に、今月30日に学校説明会と部活動体験を開催する予定である。

五つ目は、9月以降の主な活動予定である。9月16日からは民間企業の就職試験が始まっている。また10月以降、本校の文化祭である金工祭、吹奏楽部定期演奏会、公開課題研究発表会などを開催する予定である。生徒がさまざまな場面で活躍できるよう学校を挙げて取り組んでいるので、引き続きご支援のほどよろしく願います。

（特になし）

以 上

会 議 録 署 名

教 育 長 _____ 署 名

教 育 委 員 _____ 署 名

（大島委員）

[非公開議案の審議結果について]

○ 報告第27号 令和5年度金沢市教員採用候補者選考試験（金沢市立工業高等学校教員）の結果について（学校職員課）

審議結果についても非公開

以 上